

ライフステージに応じた緩和ケアを実践できる 人材育成コース（インテンシブコース）

養成目標

- チーム医療の実践を通して、小児、AYA世代、壮年、高齢者といった多様なライフステージごとに異なるがん患者とその家族の身体的苦痛・精神心理的苦痛・社会的苦痛・スピリチュアルな苦痛を包括的に評価しケアとマネジメントができる医療者。
- チーム医療のマネジメント能力を有し、診断早期からエンドオブライフケア期にわたって地域での緩和ケアを適切に提供できる医療者。
- 多様なライフステージの患者とその家族の苦痛や苦悩に対応できるコミュニケーション能力を持つ医療者。

コースの特徴

- 一般的な緩和ケアを実践できることに加え、多様なライフステージの患者とその家族の苦痛や苦悩に対応できるコミュニケーション能力や意思決定支援に関する能力の向上に重点を置く。一般医療者にとっては対応が難しいとされるスピリチュアルペインについても、理論にもとづく研修受講と演習を通して宗教によらないケアの方法を学ぶことができ、全人的な包括ケアの臨床実践に活かすことができる。

対象者・修業年限

- 臨床経験を有し実践的な緩和ケアを学びたい医療従事者（医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、カウンセラー他） ・2年